



キャンペーンの詳細は Web ページ番号

81261



保温しながら吸光度変化をリアルタイムで測定します。

コンパクト (A4 サイズ) かつ軽量 (約 2 kg) で、モバイルバッテリー (別売) での駆動も可能です。

※操作・結果判定には、別途 Android タブレット端末もしくは Windows PC が必要です。Mac では使用できません。

等温遺伝子増幅反応 (LAMP 法など) や比色分析 (酵素反応など) 等に利用できます!



用途	✓ 等温核酸増幅反応 (LAMP 法など) モニタリング ✓ 高温処理 (核酸抽出など)	✓ 酵素反応モニタリング (タンパク質の比色定量)
温度範囲	恒温・吸光度測定部：35～80℃ (2段階設定可能), 高温処理部：35～100℃	
試料数	恒温・吸光度測定部：8本 (0.2 ml チューブ), 高温処理部：4本 (1.5 ml チューブ)	
最小検出試料量	25 μl	

等温核酸増幅反応 (LAMP 法など)

用途①：核酸抽出



用途②：核酸増幅



用途③：増幅核酸検出

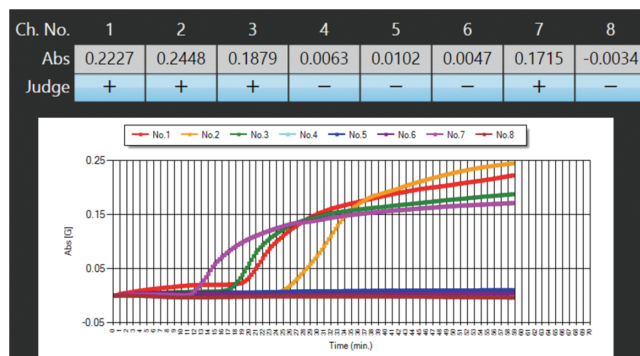


使用例

LAMP (Loop-Mediated Isothermal Amplification) 法*によるサトウキビの葉に感染したファイトプラズマの検出

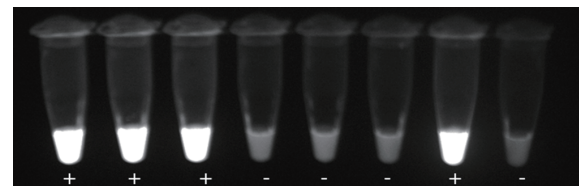
DNA を抽出後、LAMP 法により、ファイトプラズマの DNA 増幅反応を MyAbscope® を用いてリアルタイムでモニタリングした。LAMP 法では、15～60 分で DNA を $10^9 \sim 10^{10}$ 倍に増幅可能。

*ターゲット遺伝子やプライマー、鎖置換型 DNA 合成酵素、基質などを混合し、一定の温度 (65℃ 付近) で保温することで遺伝子を増幅する方法。



No.1：葉①(感染) No.5：葉⑤(非感染)
No.2：葉②(感染) No.6：葉⑥(非感染)
No.3：葉③(感染) No.7：ポジティブコントロール
No.4：葉④(非感染) No.8：ネガティブコントロール

No.1 No.2 No.3 No.4 No.5 No.6 No.7 No.8



[メーカー：KNK]

品名	商品コード	包装	通常価格 (¥)	キャンペーン価格 (¥)
カネカ温調機能付き吸光度計 MyAbscope®	KN-T100901	1 unit	398,000	298,000

■推奨チューブ (※キャンペーン対象外です)

[メーカー：KNK]

品名	商品コード	包装	価格 (¥)
カネカマイクロチューブ (0.2 ml 8連チューブ, フラットキャップ付き)	KN-T100901-T1	1 case (120本)	13,000